

進級基準・卒業所要単位数（2018年度入学生）

◎履修制限

履修登録できる単位数は、学生便覧の規定に従います。（原則として各セメスターにおいて25単位以下、年間で49単位以下です。ただし、教職科目はこの制限に含まれません。）

◎進級基準

（化学生命工学科内規）

- （1） 1年次から2年次への進級には、卒業所要単位に対応する単位合計**20単位**以上修得していることが必要です。
- （2） 2年次から3年次への進級には、卒業所要単位に対応する単位合計**60単位**以上修得していることが必要です。
- （3） 3年次から4年次への進級には、卒業所要単位に対応する単位合計**106単位**以上修得していることが必要です。

ただし、（1）、（2）、（3）のいずれにも必修科目の修得は進級要件に含まれません。

なお、進級基準に含まれている必要単位数は履修の標準的な単位数でなく、下限の単位数を示しています。したがって、留年措置は受けなかったものの修得単位数が進級基準の単位数に近い場合には、次年度末の進級が非常に困難になるため、未修得の授業科目も含めよりいっそうの努力を要することを自覚しなければなりません。

表1 化学生命工学科の進級要件の要約

| 年次 | 進級要件の要約 |
|-------|-----------------------------------|
| 1→2年次 | 卒業所要単位に対応する単位合計20単位以上 |
| 2→3年次 | 1年次から2年次までの卒業所要単位に対応する単位合計60単位以上 |
| 3→4年次 | 1年次から3年次までの卒業所要単位に対応する単位合計106単位以上 |

（注）「卒業所要単位に対応する単位」とは、修得単位数に表2の卒業要件を適用した際、卒業所要単位の一部として認められる単位です。

◎卒業所要単位数

卒業資格を得るためには生物化学コース、環境化学コースおよび食品科学コースともに、次の各号の要件を満たすことが必要です。

- （1） 在学期間が4年以上である。（休学期間は在学期間に含まれません）
- （2） 当学科の卒業所要単位数表（表2）の区分要件、区分小計、総合計のすべての要件を満たしている。

表2 化学生命工学科の卒業所要単位数

| | 区分 | 区分要件 | 区分小計 | 総合計 |
|---|-------|---|--------|---------|
| 基礎教育 | 総合科目 | 全5科目群のうちから人間性・社会性科目群2単位以上、地域性・国際性科目群1単位以上、課題設定・問題解決科目群2単位以上、表現・スポーツ・健康活動科目群1単位以上、専門基礎・自然科学科目群2単位以上（「工学倫理」を含む）を含む16単位以上の修得を要する。 | 24単位以上 | 124単位以上 |
| | 外国語科目 | 英語AⅠと英語BⅠ各1単位、英語AⅡ、英語BⅡ、英語CⅠ、英語CⅡ、英語DⅠ、英語DⅡ、英語応用Ⅰ、英語応用Ⅱの中から4単位を含む6単位の修得と、残りの英語科目、初修外国語科目、外国語共通科目の中から2単位以上の修得を要します。ただし、英語DⅠと英語DⅡについては、履修を許可された者だけが受講できる。 | | |
| 専門教育 | 必修科目 | （生物化学コース） 68単位 | 84単位以上 | |
| | | （環境化学コース） 30単位 | | |
| | | （食品科学コース） 52単位 | | |
| | 選択科目 | （生物化学コース） 16単位以上 | | |
| （環境化学コース） 54単位以上 | | | | |
| （食品科学コース） 32単位以上 | | | | |
| 区分小計の合計108単位（24+84=108）と総合計124単位との差（16単位）は、基礎教育と専門教育（他学科・他コースの科目を含む）ならびに特修プログラムのいずれから修得してもよい。 | | | | |

- （注）
- （1） 他学科の専門教育科目の修得単位数は、本表の各区分要件を満たした上で総合計単位数124単位の一部として加算できます。
 - （2） 自由科目の修得単位数は本表に適用できません。
 - （3） 他大学との単位互換科目の修得単位数は区分小計と総合計との差である16単位に加算できます。
 - （4） 生物化学コースの学生には再試験は実施されません。